



2019年2月14日

各 位

日本アジア投資株式会社
(コード番号: 8518)

従来連結基準による2019年3月期第3四半期決算概要

大型プロジェクト売却の反動減で61.5%減収、四半期純損失1.9億円 修正後の業績見込達成に向けプロジェクト売却を積み増す計画

従来連結基準による2019年3月期第3四半期連結累計期間の業績は、営業収益が1,214百万円(前年同期比61.5%減)、営業利益が△459百万円(前年同期+458百万円)、経常利益が△512百万円(同+334百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益が△197百万円(同+240百万円)となりました。前年同期の大型プロジェクト売却の反動で減収、赤字となりました。

なお、2018年12月25日付で通期の「従来連結基準による見込値」を変更しております。

今後、第4四半期に株式売却益が下振れした場合においても修正後の見込値が達成できるよう、メガソーラープロジェクトの売却益を積み増す計画です。

【従来連結基準による連結経営成績と業績見込値】

(単位: 百万円)

	2018/3期 第3四半期 累計実績	2019/3期 第3四半期 累計実績 (A)	増減率	2019/3期	2019/3期	2019/3期
				業績見込値 2018/5/14 発表値	業績見込値 2018/12/25 修正値 (B)	第3四半期 累計 進捗率 (A)/(B)
営業収益	3,154	1,214	△61.5%	3,450	2,300	52.8%
営業利益	458	△459	—	700	100	—
経常利益	334	△512	—	550	0	—
親会社株主に帰属 する四半期純利益	240	△197	—	470	470	—

(注1)従来連結基準とは:

当社グループでは、2007年3月期より、「投資事業組合に対する支配力基準及び影響力基準の適用に関する実務上の取扱い」(企業会計基準委員会 2006年9月8日 実務対応報告第20号)を適用し、当社グループで運営している投資事業組合等の一部を連結の範囲に加えて連結財務諸表等を作成しております。

しかしながら、投資家及び株主の皆さまに、当社グループの経営成績及び財務状況を正しくご認識頂くためには、従来からの会計基準による財務諸表等の開示も必要と考えており、参考情報として、従来の会計基準に従って、投資事業組合については、資産、負債及び収益、費用を外部出資者の持分を含まな

い当社及び関係会社の出資持分に応じて計上し、また、会社型ファンドについては連結の範囲から除いた連結財務諸表等を「従来連結基準」として継続的に開示しております。

(注2)従来連結基準による見込値とは：

業績予想につきましては、当社グループが展開するプライベートエクイティ投資は、その事業特性上株式市場等の変動要因による影響が極めて大きく、加えて昨今の変動の激しい環境下においては合理的な業績予想が困難なため、当社は業績予想を行っておりません。

しかしながら、投資家及び株主の皆さまの利便に資するべく、業績予想に代えて、ある一定の前提を元に策定した「従来連結基準による見込値」を、数値の合理性は低いものの、参考情報として開示しております。

(注3)将来に関する記述等についてのご注意：

「従来連結基準による見込値」をはじめとする本資料に掲載されている全ての将来に関する記述は、当社が現時点において入手している情報及び一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の数値は様々な要因により、記述されている内容とは大きく異なる可能性があります。

以上